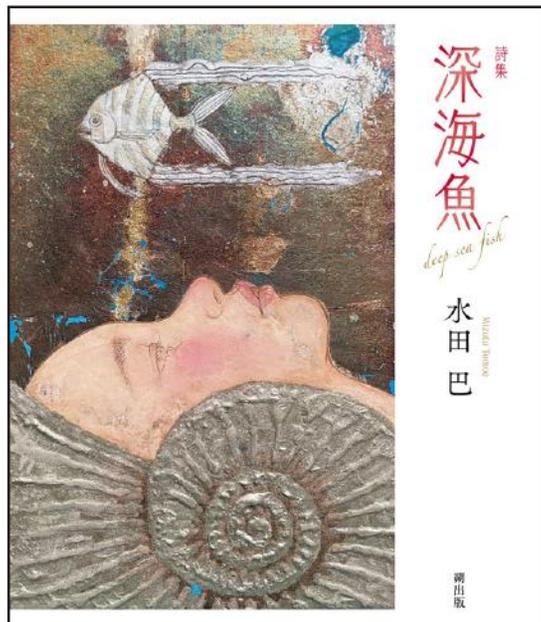


詩集 深海魚

水田 巴 著

deep sea fish



定価 2200円(本体 2000円+税10%)
A5判変型上製 268ページ

十代の頃から書き溜めてきた
心の揺らぎ、ことばの種。

今、言葉の花束にして
そっと此処に置こう。

チェリスト水田巴の初詩集110篇！

仁平勝氏（文芸評論家）推薦！

彼女が詩を書き続けてきた理由は、
「誰かに伝えねばいられないから」ということに尽きる。
読者は、「庭で咲かせておけばよいのに」などといぶかし
がらず、その「花束」をぜひ受け取ってもらいたい。

【収録作品より】

さあ 私よ
私は あの
古い棲処にもどるのだ
深い海の底へ

そして 待つのだ
涙が枯れたのちの
ふたたび 水面に映るはずの
あの 美しい月を

*
春の昼の花に胸をときめかせながら
花束を作った
逢うことのない あのひとに向けて
あのひとは
なぜ 摘むのかと いぶかしがる
「庭で咲かせておけばよいのに……」
(中略)

私は 花を摘む
ただ「在る」だけでいられぬから
今日も花束をつくる
誰かに伝えねばいられないから (「花束」)

(「深海魚II」)

水田 巴（みづた ともえ）

1959年東京生まれ。父は詩人で翻訳家の水田喜一朗。
6歳でチェロを始め齊藤秀雄、天野武子、小野崎純各氏に師事。14歳のころ音楽から離れ、
都立三鷹高校から早稲田大学商学部に進学、卒業後はITの世界へ。
49歳でチェロ再開、仙台フィルソロ首席(執筆時点)の三宅進氏、元N響次席銅銀久弥氏に
師事しつつ、アマチュアチェリストとしてソロや室内楽での演奏活動が続ける。
一方でWebサイト「詩と言葉」を開設し、自作の詩や随筆、影響を受けた詩人の作品などの
紹介を続けている。 <http://chobi256.blog108.fc2.com/>

ご注文はJRCへ FAX: 03-3294-2177

●JRCより全ての取次への出荷が可能です。●返品は長期にお受けします。(了解者 JRC 宮尾)

ご注文 申込書	貴店名・帳合	注文日	発行 朔出版 電話 03-5926-4386 FAX 03-6680-8133
		注文数	詩集 深海魚 水田巴 著
		冊	A5判変型 / 上製 / 268頁 / 定価: 2200円(本体2000円+税10%)
(ご担当者名:)			ISBN978-4-911090-12-1 C0092